

CSR活動強化の一環として情報公開を高質化 2009年のCSR報告は冊子とウェブの2種を作成

横浜ゴム（株）（社長：南雲忠信）は、CSR活動に関する情報開示高質化の一環として、「CSRレポート2009」（冊子）を9月18日に発行、併せて「CSR（社会・環境）活動」（ウェブ）を9月15日からホームページ（<http://www.yrc-pressroom.jp/csr>）に公開した。横浜ゴムは2008年に制定した「CSR経営ビジョン」に「社会からゆるぎない信頼を得ている地球貢献企業になる」を掲げており、冊子、ウェブでは、「人・社会」「環境」への取り組みを一段と強める経営の姿を紹介している。

横浜ゴムは昨年まで、CSR活動に関する情報を冊子にまとめ、同時に冊子のPDFをホームページに掲載してきた。しかし2009年度からはより幅広いステークホルダーの皆さまの要請に応えるため、分かりやすくCSR活動を紹介した冊子と、詳細情報を掲載したウェブを作成することとした。

冊子は全40ページ（昨年版：全54ページ）で、「モノづくりによる環境貢献」、「人・社会からゆるぎない信頼を得るために」の2つの特集に具体的事例を数多く取り上げ、読みやすく紹介した。一方ウェブは、大きく「企業理念」、「マネジメント」、「環境側面」、「社会側面」の4つに区分し、生産販売活動での環境貢献活動、従業員・地域社会への取り組みについて、データ、図版を多用して詳細な情報を掲載した。

なお英文版の冊子「CSRレポート2009」（PDF）と「工場・関連会社のCSRレポート」（PDF）は、10月下旬にホームページに掲載する予定。



「CSRレポート2009」の表紙（左）と「CSR（社会・環境）活動」のトップページ（右）

横浜ゴム株式会社 広報部広報・IRグループ

〒105-8685 東京都港区新橋5-36-11 TEL:(03) 5400-4531 FAX:(03) 5400-4570

THE YOKOHAMA RUBBER CO., LTD. CORPORATE COMMUNICATIONS DEPT.

36-11, Shimbashi 5-chome, Minato-ku, Tokyo 105-8685, Japan Telephone: 81-3-5400-4531 Facsimile: 81-3-5400-4570

CSR レポート 2009（冊子）の構成と特徴

<構成>

- ・ トップメッセージ
- ・ 横浜ゴムグループの概要
- ・ 企業理念／CSR 経営ビジョン／中期経営計画（GD100）
- ・ 知っていただきたいこと（Ⅰ）／モノづくりによる環境貢献
- ・ 知っていただきたいこと（Ⅱ）／人、社会からゆるぎない信頼を得るために
- ・ コーポレートガバナンス
- ・ 環境マネジメントシステム
- ・ CSR・環境中長期計画
- ・ CSR ウェブのサイトマップ
- ・ 地域コミュニケーション活動／CSR レポート 2008 アンケート結果
- ・ 第三者意見／第三者意見をいただいて

<特徴>

①皆さまに知っていただきたい情報を掲載

GRI ガイドラインに沿って横浜ゴムグループの CSR 活動状況を確認し、ステークホルダーの皆さまに知っていただきたい優先順位の高い情報を選択し、一般読者の方が理解しやすいよう整理して掲載した。

②前年に比べ 14 ページ削減

2009 年版は全 40 ページで 2008 年版に比べ 14 ページ削減した。

③分かりやすいデザイン

写真を数多く使用したデザインで、視覚的にも理解しやすいよう工夫した。

④NPO に第三者意見を依頼

第三者意見を NPO「IIHOE：人と組織と地球のための国際研究所」代表者である川北秀人氏に依頼した。川北氏の第三者意見は、冊子、ウェブの記載内容の確認と環境、購買など7部門へのヒアリングに基づいて作成された。

CSR（社会・環境）活動（ウェブ）の構成と特徴

<構成>

①企業理念・方針・会社概要

トップメッセージ、企業理念、中期経営計画、横浜ゴムグループの概要

②マネジメント・CSR 経営

コーポレートガバナンス、CSR 経営、CSR・環境中長期計画

③環境側面

環境マネジメントシステム、グリーン調達・購買、環境貢献商品の開発、環境対応生産、環境会計

④社会側面

従業員と共に、社会と共に、取引先と共に、株主・投資家と共に、お客さまと共に、2008年度アンケート結果、地域コミュニケーション活動、第三者意見
その他

■工場・関連会社の CSR レポート

本社・国内関連会社、国内生産拠点、海外関連会社

■環境関連データ集

■GRI ガイドライン対照表

■ブラックイルミネーション 2009 参加拠点一覧

■CSR 活動ハイライト

<特徴>

①詳細な CSR 情報を掲載

GRI ガイドラインに沿って横浜ゴムグループの CSR 活動状況を確認し、ステークホルダーの皆さまに知っていただきたい優先順位の高い、また低い情報も漏れなく掲載し、一般読者だけでなく専門家のご要望に応えられるよう心掛けた。

②従来の冊子に記載できなかった情報を掲載

従来、冊子では誌面の関係で掲載できなかった情報を掲載した。特に「環境貢献商品」「従業員と共に」「社会と共に」「お客さまと共に」などについて情報公開の充実を図った。このほか「YOKOHAMA 千年の杜プロジェクト」に関しては CO₂ 吸収固定量の測定、野鳥観察など新しい活動紹介も行った。

③工場・関連会社の CSR レポートは 23 に

国内外拠点の CSR 活動を紹介する「工場・関連会社の CSR レポート」は、昨年から 2 拠点（本社機構、蘇州横浜輪胎有限公司）増加し、合計 23 となった。

このリリースに関するお問い合わせ先
横浜ゴム（株） 広報部 担当：入江
TEL:03-5400-4531 FAX:03-5400-4570